



ぜん息発作を起こす原因には、 どのようなものがありますか？



**アレルギー、かぜなどの感染症、
たばこの煙、天候、運動、ストレスなどが発作を誘発します。**

ぜん息発作は、慢性的な炎症を起こしている気道に刺激が加わることで、気道が収縮して空気の通り道が狭くなるために起こります。

発作の原因はさまざまで、ダニやハウスダスト、ペットの毛やフケなどによるアレルギー反応によって起きるほか、かぜなどの感染症、たばこの煙、天候、運動、ストレスなどでも誘発されます。

小児の場合、気道の炎症を起こす原因がアレルギーであることが多いため、ア



レルゲンでいちばん関わりがあるダニの除去が、発作予防の大きなポイントとなります。また、運動をしたときに起こるようであれば、ぜん息治療が十分ではないというめやすにもなります。



ちょっとしたことで発作が起こってしまう のですが、いったいなぜですか？



通常なら何ともない刺激に、気道が敏感に反応してしまうためです。

症状がコントロールされていないぜん息の人の気道は、通常であれば反応しないようなちょっとした刺激にも敏感に反応し、収縮しやすくなっています。これを「気道の過敏性」といいます。

気道が過敏になる原因として、気道の炎症が考えられています。気道に炎症が起こることで、気道の粘膜をおおっている細胞がはがれ、粘膜の知覚神経が露出するため、さまざまな刺激に敏感に反応してしまいます。

炎症が治まれば刺激にも反応しにくくなり、ぜん息発作は起きにくくなります。